

平成 19 年度総会議事録

日 時 平成 19 年 6 月 23 日（土曜日） 14:15～17:20

場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 103 室

14:15 総会開会に先立ち会長は、当日 13:10-14:10 の評議員会において、平成 19 年度理事会に対して、総会の議に付す事項に係る論議の結果として次の建議が行われたことを発表した。

- 1) 当会会員と教育里子たち双方にとって C.P.I. の教育里親制度がより魅力あるものとなるよう、制度のあり方の再検討にかかるよう建議する。
- 2) 日本の寄付者の参画意思等を、支援対象国の人々とくに受益者である教育里子たちに伝えることを建議する。
- 3) 日本国内への報告において、WEB 閲覧できない会員への配慮を引き続き行うよう建議する。

事務局長が定足数の確認を行った。

定款第 33 条第 4 項に基づく正会員数 884 名、同第 35 条に基づく定足数 221 名に対して、会場出席者 15 名、書面表決出席者 392 名、合計 407 名の出席を以って総会は成立した。

採決は、会場出席者と書面表決出席者によって行い、過半数を以って議決とする。

続いて、議長に小西菊文理事が指名され、副議長に牟田慎一郎理事、議事録署名人に石川睦生氏・平沢栄作氏が選出された。

14:15 議長により開会宣言。議事を開始した。

開会の辞として、現会長小西菊文氏の挨拶文が読み上げられた。

概要；当会は「国税庁認定 特定非営利活動法人」として認証されることとなった。

皆さんの長いご努力とご支援の賜物であり、この総会をもってお受けすることとする。

これから、より一層、認定法人として襟を正していかなければならない。

本日の議事の審議を戴くにあたり、目標としている 3 つの願いに沿って検証をお願いする。

- (1) 対象国が教育支援を必要としない社会になってほしい
- (2) 対象国が自立して平和で幸せな国になってほしい
- (3) 対象国と日本との人と人との信頼関係を増やしたい

我々はこの願いの実現に向けて、宗教団体等に頼らず市民の小さな力の結集で教育里親制度プログラム 20 周年を迎えるに至っている。10,000 人の教育里子を育ててきた。

このことに誇りを持って、今後は卒業生たちと手を携えて発展していきたい。

続いて、山川事務局長から下記修整※1. および※2. に関する説明があり修整を行い了承された。なお、ほかにも、事前に配布された事業報告案・予算案において軽微な記述間違い、または記述洩れに係る指摘が書面または会場であり、修整または記述付記が行われたので、一括して記す。

※1. 事業報告案中、「プロジェクト等活動—スリランカ(2)スリランカ学校生徒と日本の学校生徒との間の国際協力—①」に記述間違いがあり次のように修整、了承された。

『2002 年総会で活動承認された学校間交流は、鈴木康夫氏が中心となって開始され、C.P.I. の国際協力応援団活動と位置づけ推進に協力する姿勢でいく。』（下線が修整部分）

※2. 事業報告案中、「プロジェクト等活動—スリランカ(2)スリランカ学校生徒と日本の学校生徒との間の国際協力—②」の一行目の頭の補助金取得時期を次のように修整、了承された。

『本会は 2004 年度の庭野平和財団からの補助金…』と修整。（下線が修整部分）

※3. 平成 18 年度決算説明資料「予算—中間修正—決算 対比」および「2007 年度非営利活動事業予算案」における『前期繰越額』が、平成 17 年度決算時の非営利活動事業収支計算書における『次期繰越収支差額』よりも ¥12,387-多いことに関わる説明記述洩れについて指摘があり、説明が了承されたのでここに付記する。

付記：平成 18 年度総会において、平成 17 年度決算報告を非営利事業と収益事業の二本立てで行った。しかし総会後の義務である平成 18 年度の主務官庁への報告時に、主務官庁から「これは収益事業ではない。その他事業である（特別会計扱い）。その他事業の次期繰越収支差額 ¥12,387-を非営利事業に加え ¥8,544,826-と修整報告せよ。軽微修整なので改めて総会の必要なし」と指導を受け修整したことを報告いたします。

※4. 「2007 年度非営利活動事業予算案」における『リテカ教育支援金収入』『インドネシア教育支援金』にそれぞれ括弧書きがあるが削除し忘れとのことで削除修整され了承を受けた。

※5. 「2007 年度非営利活動事業予算案」の＜2007 年予算 収入の部＞において『予備費』8,909-とあるが、これを行削除し、『前期繰越』に 8,909- と挿入修整する。

※6. 「2007 年度非営利活動事業予算案」の＜2007 年予算 支出の部＞において『予備費』8,909-を行挿入する。その結果、『当期支出合計』50,334-、『当期収支差額』以下を 0 と修整する。

※7. 「2007 年度非営利活動事業予算案」の＜事業管理費＞において左側を『2006 決算』と確認。

第一号議案 事業報告を山川事務局長が行った。 : 資料「平成 18 年度事業報告（案）」
とくに教育里親制度プログラムの今後につき、討議が行われた。

第二号議案 決算報告を横浜会計委員長が行った。 : 資料「平成 18 年度決算報告（案）」
続いて監査報告を加藤監事が行った。 : 同
会場から修整※3. に関する指摘があり、本報告で付記説明することとなった。
議長は第一号議案および第二号議案の一括採決を提起し、
承認 406 票（うち書面表決 393）、否認 3 票（うち書面 1）で承認された。

16:00（休憩）

16:15（再開）

第三号議案 事業計画案の検討と採決 : 資料「平成 19 年度事業計画（案）」

第四号議案 事業予算案の検討と採決 : 資料「平成 19 年度予算案（案）」

会場から修整※4.5.6.7. に関する指摘があり、修整が行われた。

議長は認定法人としての本会の第三号議案及び第四号議案の一括採決を提起し、
承認 407 票（うち書面表決 395）、否認 2 票（うち書面 0）で承認された。

第五号議案 平成 19～20 年度役員改選の採決 : 資料「改選役員候補」

議長は第五号議案を読み上げ、新役員の一括採決を提起して了承され、
承認 398 票（うち書面表決 393）、否認 3 票（うち書面 2）で承認された。
承認された新役員は、全員が就任を承諾した(書面承諾を含む)。

17:20 閉会

以上の記載に間違いのないことを証します

2007 年 6 月 26 日

議長

議事録署名人

議事録署名人